



2015年8月3日

福島県南相馬市の避難指示解除準備区域における大規模太陽光発電プロジェクトへの出資について

第一生命保険株式会社（社長 渡邊光一郎）、損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長 二宮雅也）、株式会社福島銀行（社長 森川英治）は、今般、福島県南相馬市の避難指示解除準備区域（※）における大規模太陽光発電プロジェクトに対し、十分な採算性を確保できるうえに、東日本大震災被災地復興支援としての意義を有することから共同でエクイティ投資を行うことを決定しました。

本プロジェクトは、避難指示解除準備区域の農地（18.2ha）を用地として行われるものであり、震災復興計画を推進する福島県の全面的なサポートのもと、地元金融機関もローン資金拠出者として参加するなど、地域一体で取り組みが進められているものです。

※避難指示解除準備区域とは、福島第一原発事故で国が住民に避難を指示し、立ち入りが制限されている避難指示区域の一つで、放射線の年間積算線量が20ミリシーベルト以下となることが確実であると確認された地域のこと。

<プロジェクトの概要>

事業者	懸の森 ^{かけもり} 太陽光発電合同会社
設置予定地	福島県南相馬市小高区（避難指示解除準備区域）
エクイティ出資者及び投資額	第一生命保険株式会社（出資額4.2億円・比率49%） 損害保険ジャパン日本興亜株式会社（同4.2億円・同49%） 株式会社福島銀行（同0.2億円・同2%）
ローン調達先	地元金融機関
総事業費	約35億円
アレンジャー	大和証券株式会社
発電予定容量	約8.6MW（一般家庭約2,700軒分）
稼動見込	懸の森第一メガソーラー発電所：2018年12月 懸の森第二メガソーラー発電所：2016年3月